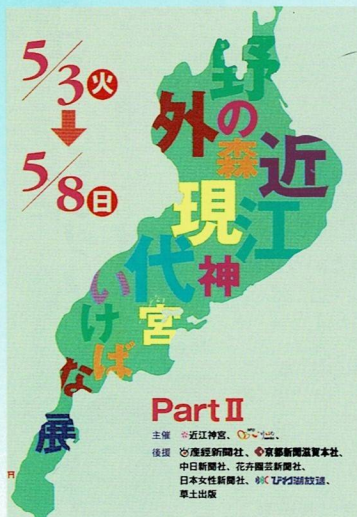


NPO



No.13

works Note



近江神宮参道大鳥居

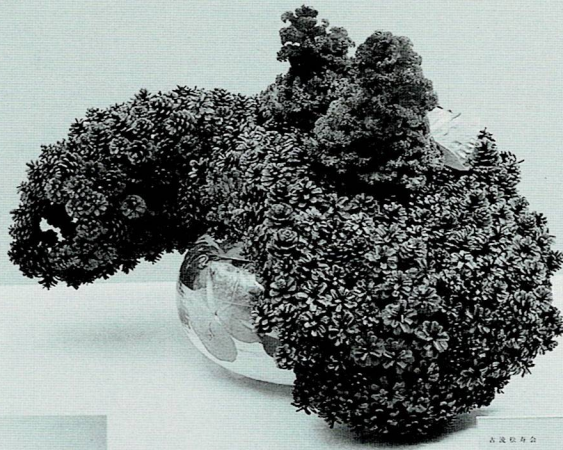


和田高甫

いけばなミュージアム

小 邑 理 晴 KOMURA REI

Vol ③



小邑理晴
いけばなミュージアム

床の間に生けていた生花からあらゆる空間に生けるという変化
そこから気づき、考える
より良い生花を生けることを。



古流松寿会副家元、横浜花道協会代表理事
NPOいけばなworks正会員 いけばなネット
ワーク21東京同人 (財)日本いけばな芸術
協会正会員

第二回定期総会

開催さる

至平成十七年五月五日(木)、(財)天智聖徳文教財
団 近江勸学館に於いて、特定非営利活動法人
として初の定期総会を開催致しましたので、ご報
告申し上げます。審議事項と結果は次の通り。
(一) 議長選任は代表理事渡邊華靖を満場一致
にて選出。(二) 議事録署名人は和田高甫、齊
藤学を選任。(三) 平成十六年度の事業報告及
び会計報告あり、満場一致で承認。今回は平成
十六年四月一日より三月三十一日までの報告。
―詳しくは省略―(四) 平成十七年度の事業計
画及び収支予算について、提案通り満場一致に
て可決されました。―詳しくは省略―以上開催
され承認されましたことをご報告申し上げます。
詳しく閲覧を希望されます方はお申し出下
さい。

NPO いけばなworks

十七年度会員 入会・継続のご案内

いけばなworksは、流派・所属立場に関わ
りなくいけばなの社会発信を目的に平成十二年に
設立されました。その後、いけばなの普及のため、
会員のいけばなに関する情報誌「いけばなworks
Note」の発行や、公共の場での作品発表
を行っています。また、一般の方にいけばな体験
やレクチャーを通し、いけばなに広く触れる機会
を提供する活動も行うと共に誌面での作品連載を
通じていけばなの社会発信につとめています。内
閣府よりNPO法人(特定非営利活動法人)認定
をうけ、より幅広い活動を目指しております。
本会では次のように会員を募集しております。
本主旨にご賛同頂き、何卒御支援賜りたくお願い
申し上げます。(※本通信は会員以外の方にも送
付させて頂いておりますので、出来れば御協力
ご参加頂きたく存じます。また、不要の方はお手
数ですがお申し出下さい。)

【会費】正会員(正社員) 一万円

賛助会員 1口 一万円

通信会員 千円

〔お申込〕 同封の郵便振替用紙をご利用下さい。

社団法人
華道未生流 総家
家元 和田高甫

〒541-0043 大阪市中央区高麗橋 2-5-15
Tel (06)-6231-1881 Fax (06)-6231-4127
(URL) <http://www.ikebana.co.jp>
(E-mail) info@ikebana.co.jp



きもの着付け

着付け教室/技術者派遣

— 個性美学理論にもとづく和装魅力術 —
NPO法人 尚美流 全日本和装協会
教室案内 www.shobiryu.jp Tel: 0120-81-0550

『供花』

石清水八幡宮の祭礼には供花が行われる。松・梅・桜・牡丹・杜若・蓮・菊・紅葉・橘・水仙・竹・南天などの造花を奉るのである。その次第は『玉葉』「中右記」といった公家の日記に窺うことが出来る。

ところで古典の祝詞に出雲国造神賀詞がある。これは一年間の斎戒を終えた国造が都に上つて神宝を献上し、天皇の長寿をことほぐものである。この中に「白鶴の生御調の玩物」という表現が見える。「鶴は以前からトリと読まれている。「白」は神聖・神秘を意味し、古来、白い動物は瑞祥(縁起のよいもの)とされた。「生」は生きた鳥を言う。「調」は上代における税の一種で、その土地の名産品を意味する。神事で「御調の糸」(伊勢大神宮祝詞)と言う場合も(名産品)である点は変わらない。漠然と「献上するもの」を指すと見てもよい。これに尊敬の「御」を付けたのは出雲国造の天皇への敬意による。つまりこの例は出雲国造が天皇に献上する(生きた鳥)なのである。

ものと鏡・甌(お)ぶ物と玉・射放つ物と弓矢・打ち断つ物と大刀・馳せ出づるものと御馬(崇る神を遷し却る祝詞)という例もある。神に献る鏡・玉・弓矢・大刀・馬について、その特徴を述べたものである。

この中の「甌ぶ物」は前の「玩物」と同意の語句である。これらは「神宝」(かんだから・しんぼう)と呼ばれる。一般にはこの中の馬のみを「神馬」として区別するが、先の神賀詞を参照すると、神々が幼な子のように鏡・玉・弓矢・大刀・馬を愛玩なさるとする考えがあり、動物をも差し上げたのだと知られる。

さて石清水八幡宮独特の供花は(大神神社の撰社である率川神社の神事には百合が用いられるが)、神々をお慰めするという意味で、この「玩物」「甌ぶ物」に通じるものがあるのである。



(かねこ よしみつ)

『日本書紀』の神功皇后五十一年の条に「玩好珍物」とあり、モテアソビモノ・メヅラシキモノと読んでいる。今日風には「愛玩」に当たるのであろう。

再び古典祝詞に目を転じると「見明らかる

國學院大學 神道文化学部講師 國學院大學大学院文学研究科神道学専攻博士課程修了
儀礼文化学会運営委員 神道宗教学会理事 現代神社と実務研究会常任理事 (http://jiko.hp.infoseek.co.jp) ｺｺ
「祝詞表現拾遺」連載中

BOOK紹介 Floral Healing 一花万象

(株)淡交社より華道表現派副家元・家元嗣・小山フラーデザイナーアートスクール代表の小山幸容氏製作・製作指導による作品集が出版されました。A4変型版百二十七頁の内百七頁を古典と現代のカラー作品をカラーヒーリングと共に紹介されています。定価六八〇円(税別) 問い合せ 〇七五-四三三一-五一一



BOOK紹介 百花草木 秋冬編

(株)学研より、前編春夏編に続いて、この五月五日に秋冬編が88名の作者による作品が掲載され、B5変形版にて、カラー百十六頁を含み、百七十四頁の並製本にていけばな伝統文化社扱い、茶華企画編集により刊行されました。すべての作品解説に作品写真が付しており、作品花材の説明がされています。定価六〇〇円(税込) 問い合せ 〇三三-三三六三-七三三八



社団法人 華道 瑩心会

東京都渋谷区恵比寿南1-12-1 ☎ FAX03 (3713) 3730
http://homepage2.nifty.com/eishinkai/

神 社 会 館

寸 女 子

代表 山本修子

座間神社 神社会館

〒228-0027 神奈川県座間市座間1-3-437
TEL 046・251・0245(代)/FAX 046・256・7731
E-mail jinja@zamajinja.or.jp



第2回 近江神宮の森 野外現代いけばな展

近江神宮

宮司 佐藤久忠様

写真家 川中啓一氏

乾杯
いけばなWorks副代表
和田高甫実行委員



開会挨拶
福永八千代実行委員

いけばなWorks代表
渡邊華靖

開会挨拶
飯尾しづ子実行委員

ペースも広い中で開催することが出来ますので、是非、立場や流派を超えてのご参加をお待ち申し上げます。(本誌に出品目録が付してあります。合せてご覧下さい。)
作品は表一、三頁、四頁にて紹介させて頂きます。
写真 川中啓一

開催報告祭終了後外拝殿前にて



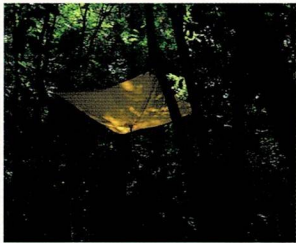
本年度二回目となります滋賀県大津市神宮町に鎮座する近江神宮(勅祭社・旧官幣大社)の広大な境内に全国から集った三十一作品が五月三日より八日までの五日間開催されました。
今回も初日は公開いけばなとしましたが、結果は二日三日四日の三日間に亘っていけばな姿が見られました。
また三日初日に開催報告祭が拝殿にて開かれ終了後、懇親会を助天智聖徳文教財団近江勧学館のホールにて、齊藤学いけばなWorks理事の司会により賑やかに開催されました。明年も期間を少し短かくして開催を計画しています(平成十八年五月三日〜五日予定) 本会場は制限も少なくス



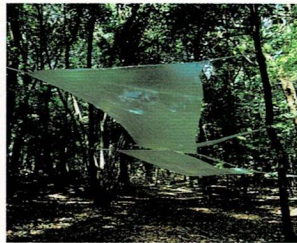
田井中豊湖



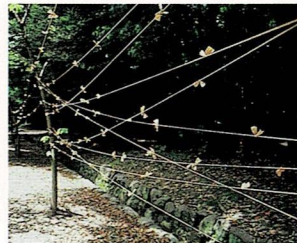
谷澤豊葉



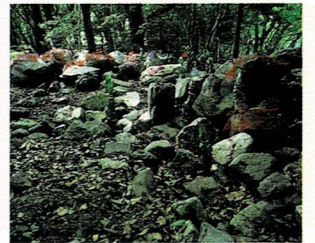
廣野ひとみ



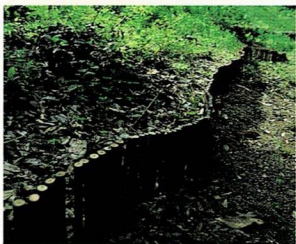
工藤亜美



Group 結



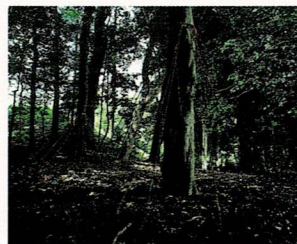
Group 風



伊東豊遊



破入一瑛

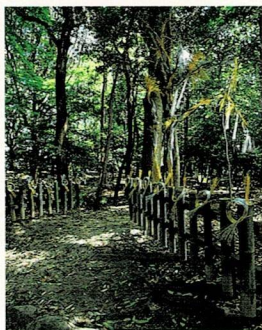


石井雅甫/乾 洋甫



平 香代

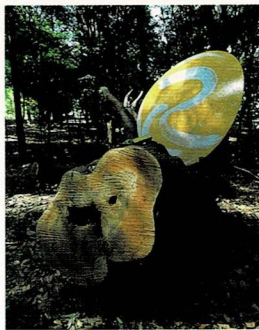
藤本みどり



堀川靖霞



藤本真利子



高橋真千子



水澤洋未

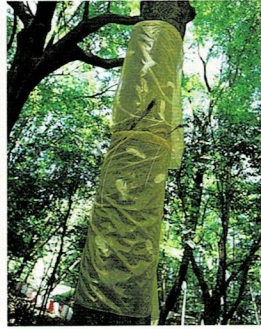


板東裕子

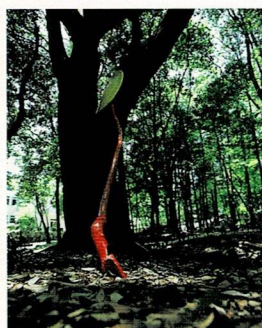
中江孝子



藤本香代



那須豊信



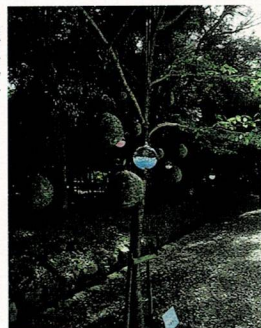
福永八千代



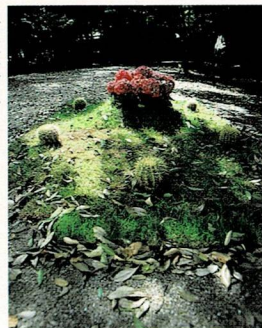
尾崎雅子



大橋純子



松本博成



飯尾しづ子



花村聖太郎



渡邊華靖



榎本博子



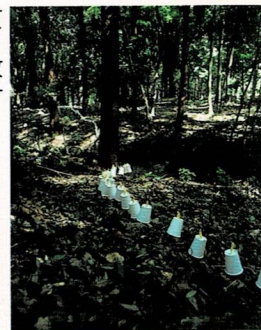
山内瀬舟



片山まき／片山みか



東敦子



伝統文化

こども教室事業について

文化庁助成事業として、(財)伝統文化活性化国民協会によって委託されています。本事業は、平成十五年より開催されています。

十五年度は一、〇〇〇百万円、十六年度、一、三〇六百万円、十七年度、一、六〇〇百万円と毎年予算額も大きくなって参りました。十五年度は一六〇ヶ所、十六年度は二千以上の開催、又、本年も同様数以上と思われます。分野の内、いけばなは、毎回五百ヶ所近くで開催し、一般への認知度も高まって参ったものと存じます。本年も、いけばな関係は六百を超え、又、他の伝統文化との複合開催を合すると七百近いのではないかと思われます。本年は前年々々に比べ、予算額の増大の為かは知りませんが、一律の減額がなく、各団体当初の予定を執行しやすいものと思えます。本会は、初年度に採択されました。後、昨年は、不採択、本年は、各支部活動と致し、本会自体の事業は有りませぬ。

本年の採択流派は、判明する所、次の様で有ります。小原流164、池坊136、草月流22、龍生流16、一葉式5、古流松応会4、未生流庵家、嵯峨流、創美流、未生流笹岡、錦花池坊、日本華道院、松風華道

会各3、遠州、古流松瀨会、古流車洋会、未生流、真養未生、安達流、専正池坊各2、小松流、鳳馨流、洗心雲林派、中山文甫会、温故流、五十鈴古流晴美会、都古流美和会、二葉流、梅月流、佳生流、正風未生、池坊正流、古流大観流、以上が流名が出て来るか、もしくは判明した団体で、他は、協会、連盟等で36、社団、財団(いけばな以外)

7、実行委員会形式47、他不明教室や、地域団体名等、116等となっています。正確では有りませんが、本年は実行委員会が増えていることと、流名を冠さない教室団体名が多くなっています。これは、同団体に連続して採択されなかった前年の結果を見て申請方法を変えた為かと存じます。但し、十五年度に採択された団体は連続でないということか、本来は採択されています。

又、本年は花材が助成として認められない為、団体負担が大きくなるなどと共に、普通の事ではあります。会計等について助成対象が厳しくなっていく方向であると存じます。

この事業は三年を経過致しましたが、今後も続く方向で、議員の先生方、文化庁の方も動いている様で有り大変ありがたいことと存じます。

又今後の問題として、現在では、各市町村の対応がバラバラで有りますが、一部地区にてこの二年間の経過を見て行政側のルール作りが決められた所も有り、学校との関係もルール作りをして参らなくてはならないのではないのでしょうか。

お知らせ

草土出版 フラワーショップ

『いけばなヌーベル・ヴァーグ』

平成16年4月より一年間、24名の作家作品をご紹介致しましたが、本連載は好評の内に終了致しましたのでご報告致します。

歴史研究

『いけばな流派』

平成15年7月より連載本年3年目の継続となります。本企画は、一流はもちろん、支部、会、社中など流史から個人史まで華道に関わる方々の紹介企画となっています。ご自分や団体の歴史を紙面に残す作業としてご理解頂き多くの方々に参加をお待ち申し上げます。

花卉園芸新聞

『紙上ギャラリー』

業界大手であります専門紙にいけばな作品を毎月掲載することにより、生産者から流通に関わる方々にいけばなを認識新たにして頂きたく企画しています。

りぶる

『現在に活躍する華道家
フラワーマスターイストたち』

三十万部を発行する自民党の女性誌です。二年間の連載予定で、24名を紹介致します。一般誌と同様です。いけばなの社会発信にご協力下さい。

プロフローラは、フラワーデザイナーのためのドライフラワー、プリザーブドフラワー、シルクフラワー、花器、デザイン資材のお店です。

PRO FLORA



有限会社 プロフローラ

〒162-0067 東京都新宿区富久町13-14
phone:03-3350-8757 (代表) fax:03-3350-6638
http://www.pro-flora.com

いけばな作品集

百花草木 秋冬

学習研究社 刊
AB判・176ページ・価格/5,715円(税別)

お求め、お問い合わせ先
いけばな伝統文化社

〒102-0083 東京都千代田区麹町1-10-2
TEL 03(3263)7380 FAX 03(3262)3730



子どもいけばな教室

指導者研修会

開かれる

本会では、各地での子供いけばな教室、小学校での土曜教室、華道部の拡充に対して、指導者育成の為一日研修会を開催致しました。

日程の関係で広くご案内出来ませんでした。六月十九日(日)創美流華道會館にて、17名の参加にて、開催され、参加者募集、業務一式の対応、全10回15回のカリキュラムの作成を見本を作りながら説明し、指導者要項心得の説明を受け、十時〜十二時半まで座学、その後、実技は自由に参加、今回、参加者一人一、五〇〇円にて開催致しました。又、本会正、賛助会員の方には、過去のイベント報告書を一件一、〇〇〇円にて配布しています。伝統文化いけばななども教室、ゆめ基金、子供体験レッスンなどの報告書を参照頂けたらと存じます。



子どもゆめ基金助成活動

日本伝統文化

茶華道レッスン開催について

本年も前年に続き、独立行政法人 国立オリンピック記念青少年総合センターの子どもの体験活動助成を受け、標記の活動を開催することになりました。子どもは夏休みに合わせて、一日和室の空間にて、いけばな、茶の湯を楽しむことにより、伝統文化を体験、習得する機会を提供致します。前年は二日間でしたが、本年は三日間とし、より多くの参加を集めてゆきます。

日時 7月29日(金) 30日(土) 31日(日)

10時〜15時 各定員15名 延45名

対象 小学1年より中学3年

参加者 一人 二、〇〇〇円

助成金 四一三、〇〇〇円

活動経費総額 五三八、七〇〇円

文化庁委嘱

(財)伝統文化活性化国民協会

伝統文化

子ども教室開催について

三年目と成ります伝統文化子ども教室の助成について昨年は、本会是不採択でしたが、本年は各支部活動と定めて申請次の支部にて活動致します。

支部各 採択額

- 品川区支部 七八五、〇〇〇円
- 川崎市支部 八九七、〇〇〇円
- 清瀬市支部 八八九、〇〇〇円
- 横浜支部 八九八、〇〇〇円
- 所沢市支部 七六一、〇〇〇円
- 府中市支部 八九九、〇〇〇円
- 小平市支部 八八八、〇〇〇円
- 勝沼町支部 七七七、〇〇〇円
- 車村山市支部 八九九、〇〇〇円
- 滋賀県支部 八九三、〇〇〇円
- 瑞穂町支部 八九八、〇〇〇円
- 東大和市支部 八九九、〇〇〇円
- 練馬区支部 八九八、〇〇〇円

以上十三支部

各支部共団体負担一五〇、〇〇〇円程度の計画、参加費一人、五、〇〇〇円〜七、五〇〇円程度で各十〜二十名の募集を全十回〜十五回にて実施致します。

教育委員会による 東京都

日本の伝統文化

理解教育推進事業について

いくつかの新聞の報道記事でご存知の方々もおられることですが、平成17年度より、東京都内の幼・小・中・高、他の学校にて、日本の伝統文化理解を推進する事業が始まりました。

特に高校では、新教科として、「日本の伝統・文化」の導入を検討しており、華道、茶道、能や狂言、

和歌、俳句、剣道、柔道などを通じて、従来の学習内容で「日本とは何か」といった深い思慮をもたらすことが出来ない為、生徒に体験させるだけではなく、歴史的背景や価値などについても深く掘り下げ文化への関心を養うことを目的としています。

この17年度はまづ「日本の伝統・文化理解教育」推進校として、幼1、小29、中16、高10、他4が決定、各校の取組予定は多岐に渡っていますが、華道は、5校で予定、内3校は高校です。これによって、高校の学校設定教科、科目、カリキュラムの開発が進められ、指導事例集の作成配布等が予定されています。都内には約1900の公立小中と、2011の高校が有り今後の進行を見守ってゆきたく思います。今までの部活や、土曜授業などの動きと共に教育として、伝統文化が正しく普及される為にも、業界として研究する必要があると考えています。

特に、カリキュラムの中で指導する立場の指導者の教育などは、現状では各校の独自判断ですが、全校導入の中で一定の資質等、資格の問題も出て参りますものと判断しています。

事務局より

近江神宮の森野外現代いけばな展は新緑の美しいなかで開催され、昨年引き続き出品される方や、新たに加わって下さった地元近隣の先生方を交え成功裡に終わりました。

近江神宮様にも感謝申し上げます。二年目ということで、場を熟知した作品も増え自然とのかけ合いが上手くなされていく様に思われました。また、いけばなを受け付けた際には、境内を散歩されてる方から声を掛けられ、昨年の作品も話題にのぼったりと、一年前の事まで覚えていたことに驚かされ、二年目にしてこのイベントが定着しつつあることを感じました。来年度も第三回として開催をいたしますので、実験の場としてもご利用頂き、新たなご出品者をお待ち申し上げております。また、八月には関東にて箱根神社での野外展を開催いたします。こちらは出品者がほぼ決まり、あとは開催に向けて秒読みといったところです。芦ノ湖に面した美しい場所ですので、是非ともお出かけ頂きたく存じます。

小売店様専用花材・資材仕入のショッピングモール「O+K!」サイト登場!

O+K!

おたすけ

<http://otasuke.otakaki.co.jp/>

尚、当社は卸売のみとなっておりますので、生花販売店及び教室等を運営されている方に限定させて頂いております。(担当：平野・中村)

OTA 株式会社 大田花き 東京都大田区東海 2-2-1 143-0001
TEL03-3799-5000/FAX03-3799-1871 URL <http://www.otakaki.co.jp>

歴史研究

歴史研究会ご入会のおさそい

◎歴史研究会はいわゆる学術団体ではありません。「歴史を楽しむ広場」作りをしている全国歴史愛好家のための文化機関です。歴史好きのあなたにお役に立ちたく、いろいろとプランを考えています。是非ともご入会いただきたくお誘いいたします。

★見本として、雑誌『歴史研究』を贈呈します。下記へご連絡ください。

歴史研究会事務局

〒141-0031 東京都品川区西五反田2-14-10 五反田ハイム504

TEL 03 (3779) 3127/FAX 03 (3779) 5063

第三回 伝統文化いけばな体験講座



司会 後藤博子文化・スポーツ局長



自民党本部901号室



武部勤幹事長

本年で三年目となります、永田町自由民主党本部での開催「伝統文化いけばな体験講座」今回は自民党立党50年プロジェクトの一環として、参加者も国会議員を初め、外国大使館関係、党職員、議員秘書、自民主ルマヤの一般参加を含め50名の参加者に「春の盛花をいける」と題して、桃、ビンボンナム、フリーズアなどをおよそ一時間半の時間のでいけて頂きました。

今回は、四時より後藤博子議員の司会により、九階大会議室にて、まづ八代英太議員の開会挨拶、そして荻原健司議員の体験宣誓の後、実技、講習に入り、武部勤幹事長にも体験頂き、ご挨拶を頂きました。当日はテレビ局なども入り、多くの報道関係者の中開催され、いけばな文化の社会発信となったのではないかと存じます。

又、合せて、小泉純一郎自民党総裁室、武部勤自民党幹事長室にも飾花し、元宿自民党事務局長室へも表敬訪問し飾花致しました。

本事業には十名のスタッフが参加、下記のように協賛頂き五時半に盛会裡に終了致しました。

自民党の女性広報誌「りぶる」では、本会の企画により、毎月いけばなの頁が連載され各流の指導者、作品がコメントと共に紹介されていますこと合せてご案内致します。



閉会挨拶 根元匠広報本部長



八代英太衆議院議員



園田天光元外務大臣夫人元議員



有村治子参議院議員



いけ上がった作品を前に議員の皆様と共に



元宿仁自民党本部事務局長と

【協賛】 JA愛知みなみスプレーぎく出荷連合
 JA鶴岡 (有)尾作生花店 関東花器茶器専門店会
 (株)草土出版 花卉園芸新聞社 歴史研究会
 茶華企画 (社)末生流総家 華道相阿彌流 創美流華道